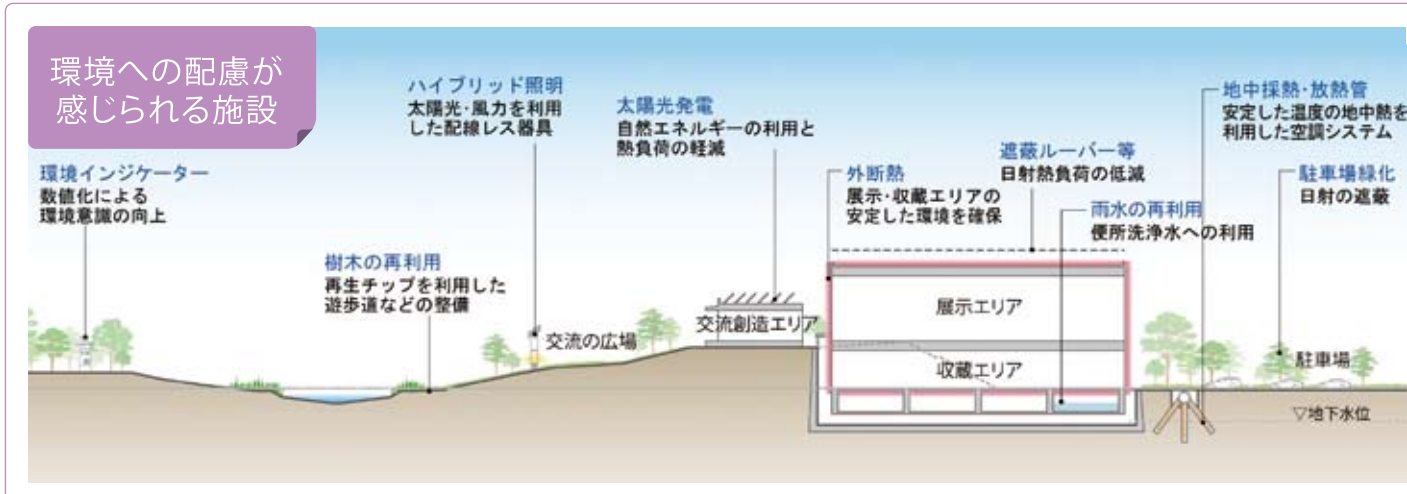


基本的な考え方

「三重の自然と歴史・文化」を育み、みなさんと



「ともに考え、活動し、成長する博物館」をめざします



外気の影響を受けにくい位置に配置した収蔵庫と、さまざまな展示を可能にするフレキシビリティの高い展示空間

緑のある駐車場

増築エリア

展示室/収蔵庫

駐車場

西→

エントランス

三重県総合文化センター側

■ 県総合文化センターや美術館と一体になった「文化ゾーン」

県総合文化センターや美術館との文化ゾーンの形成を意識し、配置や動線などに配慮した計画とします。

■ 県立博物館にふさわしい「外観デザイン」

周囲の景観に配慮しながら、県立博物館にふさわしい落ち着きや、三重らしさを感じるデザインとします。

■ 緑の環境を生かす

「ミュージアムフィールド」敷地内の緑の環境を生かすミュージアムフィールドを設けるとともに、環境保全の大切さが感じられる施設とします。

北↓

敷地全体での環境配慮

多様な環境技術の導入により、省エネルギーを実現します。

環境学習の場づくり

県民・利用者のみならず、里山林の再生・保全の活動など、環境学習の場づくりを行います。

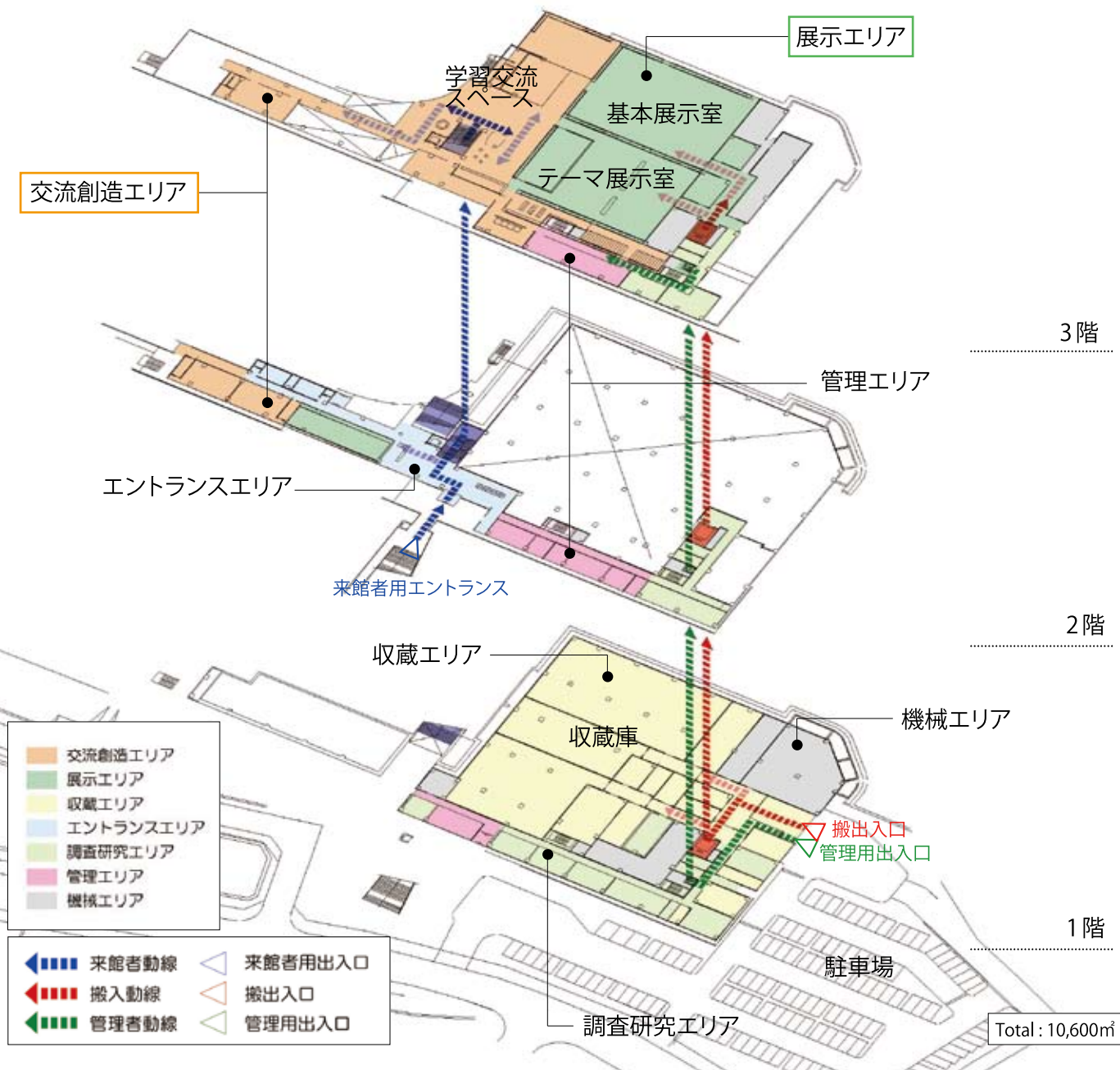
周辺地図と交通案内

- 場所：県総合文化センター隣（約3.7ha）津市上浜町6丁目・一身田上津部田地内
- 鉄道：津駅（近鉄名古屋線、JR紀勢本線、伊勢鉄道）下車
- バス：津駅西口から約5分（三重交通路線バス）
- 徒歩：津駅西口から約25分
- 自家用車：伊勢自動車道芸濃インターから約15分
伊勢自動車道津インターから約10分



施設構成

利用者のみなさんにわかりやすい施設構成



県民のみなさんに開かれた 明るい「エントランス」

エントランスエリアは、交流の広場に面し、飲食・休憩スペースなどを配置することで、だれもが気軽に立ち寄れる空間とします。

明るく開放的な 「交流創造エリア」

交流創造エリアの中心となる学習交流スペースは、明るく開放的な空間とします。また、さまざまな相談への対応や、歴史的公文書等収蔵資料の閲覧など、みなさんの活動を支援するところとします。

交流創造エリアと相乗効果 を高める「展示エリア」

展示エリアは、展示資料の動線や保存環境に配慮した位置に配置するとともに、交流創造エリアと連携することで、博物館活動の幅を広げるなどの相乗効果を高めます。

外気の影響を受けにくい 「収蔵エリア」

収蔵エリアは、外気の影響を受けにくい位置に収蔵庫を配置するなど、資料の保存、管理、研究に適した施設とします。